

たんちょう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.64
2013.1

くしろ丹頂

迎春

日の出とともに大空に羽ばたく丹頂

CONTENTS

- 新年のごあいさつ
組合長理事 瀧澤 義一 ————— 1
- 北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔章 — 2
- 代表理事専務 對木 範誉 ————— 3
- 常務理事 松井 俊治 ————— 4
- 組合員組織 ————— 5・6
- 組織機構図 ————— 7・8
- 年始日程表 ————— 9

代 表 監 員 参

表 外

監 監

事 事 事 事

瀧 對 松 梶 高 松 武 井 芳 大 尾 瀨 村 宮

澤 木 井 原 橋 下 藤 出 澤 井 坂 田 戸 上 寄 他
義 範 俊 英 達 清 清 改 博 計 泰 通 員 職
一 譽 治 光 雄 勉 隆 澄 治 行 文 猛 見 夫 晴 同

組 合 長 理 事
代 表 理 事 専 務
常 務 理 事
信 用 担 当 理 事 兼 参 事
理 事

謹んで新春の
お慶びを申し上げます



新年にあたり

釧路丹頂農業協同組合

組合長理事

瀧澤 義一



組合員の皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年は、天候・政治・経済・世界情勢等々あらゆる事が予想、予測の出来ない事態が発生する激動の一年でありました。

その締め括りに衆議院が解散され、師走の選挙が展開され民主党政権が国民の信頼を失い、自民党の圧勝に終わりました。JAグループが「断固反対」を提唱し続けているTPP交渉への参加問題に結着をつけ、北海道農業が我が国の食糧供給基地として、持続的に発展しうる農業政策を実行できる政権・政府の発足を強く望むところであります。

すでにJAグループ北海道として、平成二十五年度予算に対する政策提案を前政権に対して行ってきたところでありますが、その内容は、一、主業的経営体が真に必

要とする中長期的視点に立った政策の確立 一、農業経営所得安定対策の確立 二、農業振興対策の確立 三、米・水田農業政策の確立 四、米・畑作青果政策の確立 五、酪農畜産政策の確立 六、酪農畜産政策の確立 七、消費増税に係る価格対策 八、消費増税に係る価格転嫁対策等の確立 以上の七項目で詳細は省きますが、これが実現実行される様、新政権に要請をしていきます。

昨年の天候も不順不安定で、農業にとつては厳しいものでありましたが、稲作・畑作では質・量とも前年作以上という収穫の秋になった様であります。酪農においては生乳の増産方向が見え始めた七月から八月に入ると、乳牛の体

調に影響の出る高温期が長期化し、九月下旬でやっとやや上向きに転じる事ができました。年間を通して計画数量の達成は、相当に難しい状況となっております。

今年度乳価はキロ二円三十一銭上げて五月末に決定し、二年前より約四円五十銭の乳価上昇があります。飼料代を中心とする生産資材価格の高止まりで、経営収支が好転するという事に全くなっておられません。

通常であれば、次年度の販売方針・対応対策等報告できる時期でありますが、解散総選挙という事態の発生により、酪対・販売委員会の開催が遅延をしていますが、昨年同様の内容で決定されるものと考えています。増産を旨とした「第八期生乳安定生産対策」の二年目となりますが、全道酪農戸数の減少により「酪農生産基盤の維持・拡充」が喫緊の最重要課題となっておりま。

当農協においても、戸数の減少・生乳生産の停滞は農協事業運営において根幹となるところであり、当面中長期的対策を理事会・専門委員会と協議検討中であります。酪農経営にとつて重要なのは、土・

草・牛と言われ続けておりますが、その基本的な部分、特に草地の雑草率が、全道でも平均で50%を超えているという調査結果もあり、養分収量が著しく低下した草地の実態があります。

飼料穀物価格が上昇する中、生産コストを抑えるという事からも、良質粗飼料を十分に確保する事は酪農経営の基本であります。利用草地を検証されて、計画的に更新改良されるよう新年にあたり決意を頂きますようお願いいたします。

私も札幌常勤一年半を経過し、組合員の皆様、役員には組合長として十分な職務の遂行ができていないのではと反省の日々ではありますが、ホクレン酪農畜産担当役員として北海道農業・酪農畜産の安定と充実発展に尽力する事が、ひいては農協経営の安定・組合員経営の充実に向上と生活の安定に寄与できる事と考え、更なる努力を惜しまない所存であります。

新年にあたり、皆様の御健勝を祈念し、御挨拶いたします。



年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章



組合員をはじめJA役職員の皆様方が、希望に満ちた平成二十五年の新春をご家族とともに迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

昨年の北海道農業は、一部地域での豪雪の影響などにより農作業の遅れなどがありました。その後比較的天候に恵まれ、降雪被害や台風による被害などによって地域や作目による差はあるものの、組合員・JAの努力が報われ総体的には豊穰の出来秋となりました。さて、平成二十三年の東日本大震災から二年が経とうとしておりますが、復興への道筋は決して容易なものとはなっておらず、また原発事故の収束にも目途が立たず、全国の農業者や消費者は不安を抱えています。JAグループは、被災地の復興に向けてあらゆる支援を続けていくこと、安全・安心な農畜産物を安定的に消費者の皆様

にお届けすることに、今こそ協同組合の精神である「絆」を大切にする価値観のもとで、総力を挙げて取り組む必要があります。

なお、今冬は電力不足の可能性から、北海道では今夏の取り組み同様に7%以上の節電目標が設定されました。もし万が一にも計画停電となった場合には相当の支障が生じることが危惧されることから、JAグループ北海道として節電に取り組んでいく必要があります。すので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

さて、本年は『協同活動でつくる持続可能な農業と地域社会』を主題に開催した第二十七回JA北海道大会決議事項の実践初年を迎えます。本大会は向こう三か年間のJAグループ北海道のめざすべき方向を決定し、これを内外に表明するとともに組合員ならびに役員員の意識高揚を図り総力を結集

して決議事項の実践を図ろうとするものです。

大会決議事項の「持続可能な北海道農業の実現」では、日本の食料基地北海道として、安全・安心な農畜産物を生産し、安定的に消費者に提供するという使命を果たすために、持続可能な北海道農業の実現に向けて、必要な農業政策を国に求めていくとともに、自らも農業生産を担う多様な担い手の確保・育成、農業生産に意欲を持つて取り組める農業所得の拡大、食の安全・安心対策の実施と環境に配慮した農業の実践に取り組むことを決議しました。

一方、「次代を担う協同の実践」では、JAグループ北海道の組織・事業・経営において、JAの経営を担う次世代の担い手の正組合員加入を促進し、次代に向けてともに共同活動に取り組むこと、地域におけるライフラインの一翼を担うものとして、総合事業体の強みを生かし、組合員・利用者（地域住民）から高い満足度を得られるサービスを提供するため、自らがさらなる経営の健全性向上に取り組むこと、加えて、組織を支える人づくりとJAグループ北海道への理解醸成に向け広報活動に積極

的に取り組むことを決議しました。また、TPP交渉参加断固阻止に関しては、多くの関係機関と連携の上、理解促進運動を継続し、組織の総力を結集し不退転の決意で徹底して闘うことを特別決議として再確認しました。

大会決議に基づく基本目標の具体的成果に向け、JAグループ北海道の総力を挙げて取り組みましょう。

今後、景気の低迷や農業貿易交渉等の進展によつては、農業への影響が大きく懸念されますが、全道の組合員の皆様をはじめJA役員が『一人は万人のために、万人は一人のために』という協同組合の理念をよりどころにして、JAへの結集を強め協同運動を強力に展開することにより、この苦境を打開し未来を切り開くものと確信しております。

本年も災害がなく、豊穰の秋を迎えることができ、北海道農業の発展と成長をめざし飛躍の年となりますよう心から祈念申しあげ、新年にあたってのご挨拶といたします。



新年にあたり

釧路丹頂農業協同組合

代表理事専務

對本 範登



新年、あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には、平成二十五年の輝かしい新年を、ご健勝で迎えの事とお慶び申し上げます。

わが国の経済は、この三年余り、民主党の数々の内政、外交での迷走により現在の危機的状況を招きました。遅れる復興、長引くデフレ、わが国固有の領土、主権に対する外国の挑発等、特に我々農業関係者にとっては、野田前総理の「TPP推進論」に振り回された一年であつたと思う所であります。

TPPに関しては、「ゼロ関税」と「強い農業」は、絶対に両立しません。農産物をはじめ、食品の安全基準の緩和や遺伝子組み換え食品の表示義務の撤廃、公的医療保険の崩壊、外国人雇用の増大など、国民生活の根幹に関わる問題を今後共、消費者の理解を求めながら、断固反対姿勢を貫いていか

なければならぬと思います。

一昨年3・11大震災に伴う、原発稼働停止により、電力需給が逼迫する中で、平成二十二年比七%以上の節電期間中にあります。計画停電を極力回避する為に、組合員の皆様の住宅、施設等、出来る限りの節電をお願いする所であります。

世界有数の農業大国アメリカでは、穀物の主産地となっている中西部や東部を中心に記録的な猛暑が続き、穀物生産に深刻な影響を与えました。この結果、穀物の先物価格が高騰する等、各国への輸出価格、我が国も含めて世界の国々の食卓への影響も心配されています。この様な昨今の世界的な異常気象は、食料生産の不安定感が増すばかりであります。自国の食料は自国で賄うという自給率向上への思い切った政策が急務であると考えます。そのためには、農業

経営、所得の安定、新規就農者を含む担い手後継者の育成、農地の維持確保、基盤整備等の政策を今後の政権与党に強く期待を望むところであります。

さてJAにおいては、「第八期生乳安定生産対策」(H24年～H26年)の増産基調のもと、組合員の皆様におかれましては、それぞれ鋭意努力された所ではありますが、予想以上の搾乳農家の減少、八月中旬以降の残暑等により僅かな伸びにとどまりました。

粗飼料においては、春先からの低温続きで収量低下が懸念されたものの、その後回復し、一部刈り遅れの一番牧草ロールが散見されましたが、牧草、デントコーンあわせて概ね良質の粗飼料を確保できた事と思います。今後の乳量回復と増産に期待をする所であります。

昨年度の組合員の農家経済状況は、クミカン精算において、生乳主産の増産基調、乳価の値上げにより、意欲のもてる状況にあつたものの、収入に於いては個体販売収入及び受入奨励金等、雑収入の減収により収入全体が大きく減収となったため、支出が前年と変わらない実績にありながら、厳しい収支状況となりました。新年度営

農計画では、生産体制の立て直しと経営収支の改善のため経営管理の徹底、コスト削減等、農家戸々のより一層の努力が必要な年となりそうです。

この様な厳しい状況の中、昨年のJA北海道大会の決議事項である「持続可能な北海道農業の実現」及び「次代を担う協同の実践」の各重点目標の推進を通じて、更には、平成二十六年から平成三十年までの「地域農業振興計画」「JA中期経営計画」の策定の年でもあり、今後五ヶ年の指針となる極めて重要な計画を策定する年となります。今までの問題点、課題等、すべて洗い出して組合員の皆様の意向、意見等を充分考慮、検討し策定していかねばなりません。

今後共、JAが組合員の期待に応え、農業経営の安定と向上を目指す、役職員一丸となり、日々努力する事が使命である事を再認識し、組合員の皆様と共に、決意を新たにして取り組んで参る所存でありますので、引き続きご指導、ご協力を賜ります様宜しくお願い申し上げます。

皆様にとりまして、本年がご健勝で、ご多幸の一年となります様、心から御祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。



新年を迎えて

釧路丹頂農業協同組合

常務理事

松井 俊治



上の為、また将来に向かって安心して持続可能な経営ができるような農業政策を期待するところであります。

新年、明けましておめでとうございます。
組合員の皆様には、平成二十五年の希望に満ちた新年をご家族とともに迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。

今年三月十一日で、東日本大震災発生から二年の月日が流れよう

としていますが、福島県では牧草地の除染作業が思うように進まず、昨年の牧草収穫は断念し、又、放射能に汚染された堆肥が山積みとなるなど、いまだに被災地の農家は震災の影響を受けたままであり、一日も早い復興を願うばかりであります。

さて、政治情勢に目を向けますと、民主党政権のTPP交渉参加に前のめりの姿勢に対して、JA

組織としては積極的にTPP反対運動を展開してきました。六月には釧路地区として関係団体と連携の下、二千人規模の総決起大会の開催をし、十一月にはJA北海道大会において、TPP交渉参加を断固阻止する特別決議を満場一致で採択したところであります。

日本は現在デフレの状況下であり、経済が長期にわたり低迷する中で、民主党政権は消費税増税・尖閣諸島をめぐる外交問題・そしてTPP問題など国民の支持を得られず、十一月十六日に解散となりました。衆院選後の次期政権には、日本の伝統・文化・文明を変えてしまうTPP参加には断固反対の意思を貫いてもらい、国の食糧自給率向上の為、農家の所得向

その様な状況の中、昨年の農業情勢は、春先の低温、播種時期の天候悪化、日照不足など心配されていた飼料作物の生育も徐々に回復し、デントコーンにおいては台風の影響で若干の倒伏が見られましたが、量・質ともにまずまずの収穫でありました。また、加工補給金は二十五銭、乳価においては二円三十一銭の値上げとなり、生乳増産に向け力強い後押しとなりましたが、酪農家戸数の減少、更には八月下旬の残暑の影響もあり前年対比101パーセント台の伸びにとどまりました。組合員の皆様には今年も生乳増産に向け、更なる努力をお願いするところであります。JAとしても乳牛頭数減少の中、後継牛を確保するために雌雄選別精液への助成を行い、今後は搾乳素牛の増頭により生産基盤が強化されることを願うところ

であります。

現在、平成二十六年度から始まる「第二次JA中期経営計画」の策定準備に取り組んでいます。その中で、地域農業を担う人材の受入と育成・TMRセンター及び法人経営形態の設立と運営支援・組合員との密着化のため、出向く態勢の確立と組織構造の見直し・草地改良への支援、などを重点項目としており、平成二十五年度はその足がかりとなる重要な年であると認識しております。

今年も農業を取り巻く情勢は厳しいものになると推測されます。組合員の皆様には今こそ農協に結集していただき、JAくしろ丹頂も役職員一丸となって組合員経営の安定と向上のために、又地域社会の振興のために貢献していきたいと思っております。

皆様にとりまして本年が飛躍の年になります様に、心から御祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

ＪＡくしろ丹頂組合員組織

あけましておめでとうございます。

釧路丹頂農協女性部

部長 峯田 弘子

釧路丹頂農協青年部

部長 菱沼 和也

釧路丹頂農協酪農振興会

会長 竹中 憲之

釧路丹頂農協肉牛振興会

会長 成田 俊英

釧路丹頂農協馬事振興会

会長 江崎 勝三

釧路丹頂農協乳牛改良同志会

会長 瀧澤 一成

外国人研修生受入協議会

会長 竹中 憲之

幌呂大型機械利用組合

組合長 大 裕 晋 二

鶴居宮農組織代表者協議会

会長 千葉 喜好

鶴居村乳牛検定組合

組合長 松井 俊治

J A くしろ丹頂組合員組織

本年もよろしくお願い申し上げます。

鶴居村酪農ヘルパー利用組合

組合長 高橋 文雄

白糠町乳牛検定組合

組合長 田口 秀男

白糠町酪農ヘルパー利用組合

組合長 野上 敏

音別町酪農ヘルパー利用組合

組合長 山田 巧

白糠町野菜生産組合

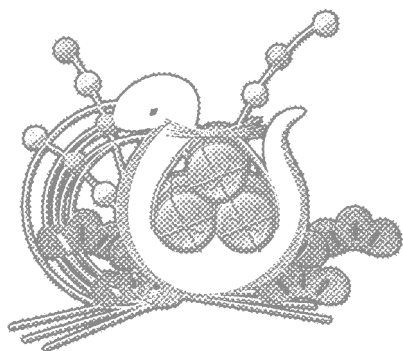
組合長 細谷 照雄

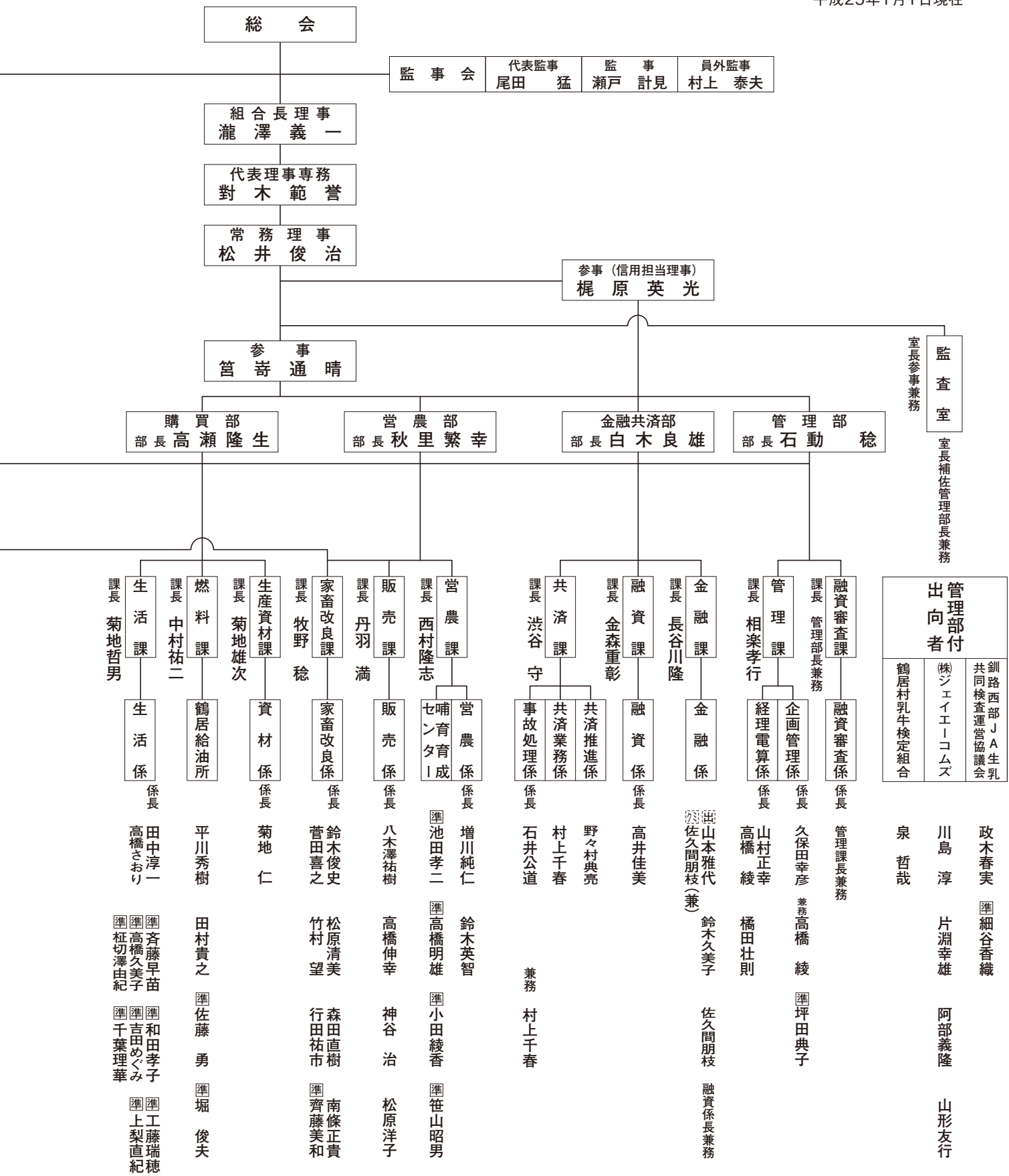
白糠町農民組合

執行委員長 芳澤 浩一

白糠町農村青少年クラブ

会長 照井 優

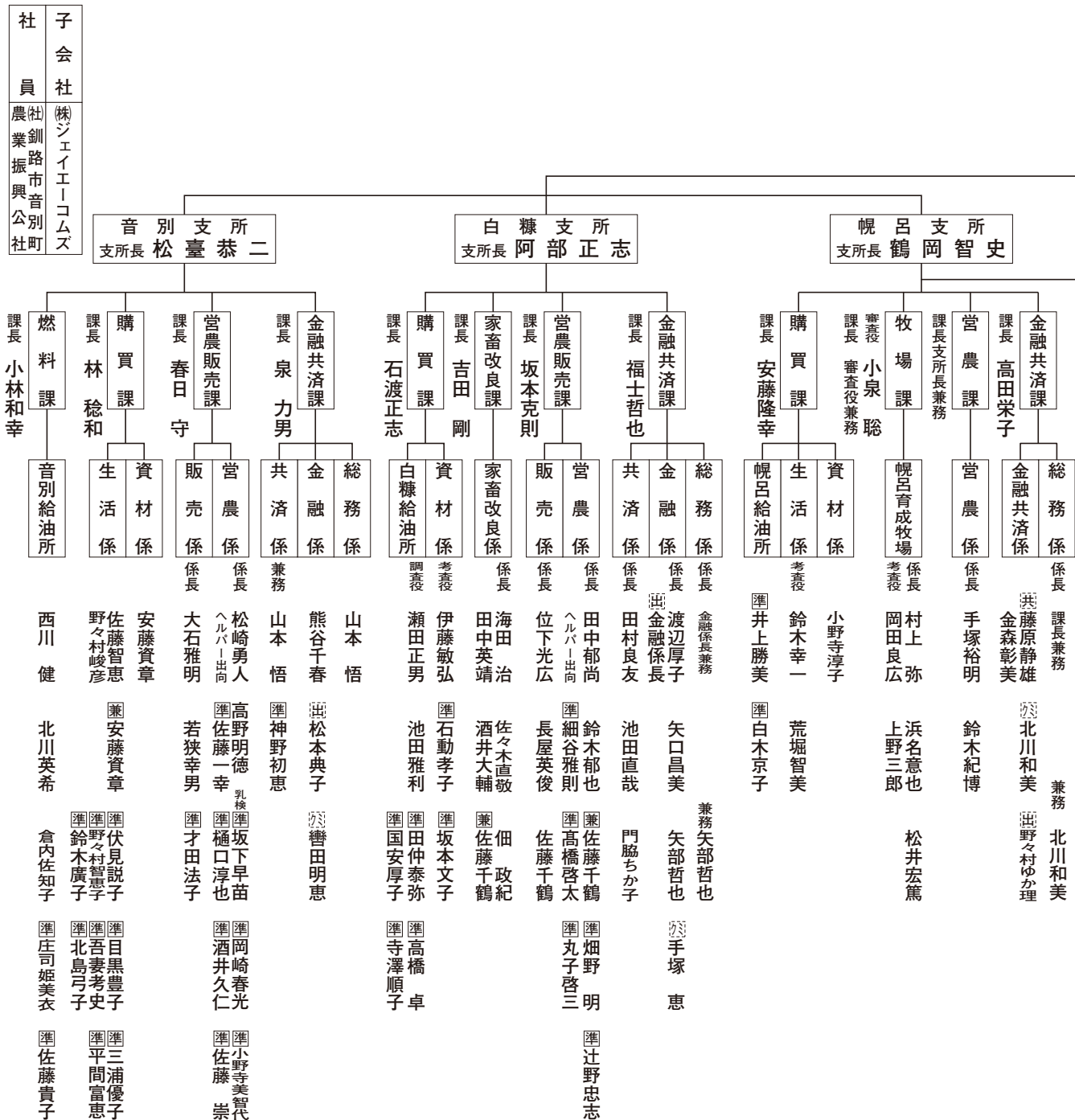




区 分	男	女	計
正職員	88	26	114
準職員	19	30	49
計	107	56	163



融 資 協 議 会
委員長 井 出 清 澄



JAくしろ丹頂 年始日程表

年月日	各 地 区 の 事 務 所			販 売			家畜改良 鶴居・幌呂 白糠・音別	生 乳	哺育育成 センター	幌 呂 育成牧場
	管理・共済	金 融	営 農	鶴居・幌呂	白 糠	音 別				
平成25年 1 月 1 日(火)								通 常 業 務		
1 月 2 日(水)							業務始め*			
1 月 3 日(木)										
1 月 4 日(金)		業務始め		業務始め 初生集荷	業務始め 初生集荷					
1 月 5 日(土)		A T Mのみ (14時まで)								
1 月 6 日(日)										
1 月 7 日(月)	業務始め		業務始め			業務始め		↓	↓	↓

年月日	購 買 ・ 鶴 居			購 買 ・ 幌 呂			購 買 ・ 白 糠		購 買 ・ 音 別		
	生活店舗	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材
平成25年 1 月 1 日(火)											
1 月 2 日(水)											
1 月 3 日(木)		業務始め			業務始め*						
1 月 4 日(金)	業務始め						業務始め 午後6時まで		業務始め 午後6時まで	業務始め	
1 月 5 日(土)							午後6時まで		午後6時まで		
1 月 6 日(日)											
1 月 7 日(月)			業務始め	業務始め		業務始め		業務始め			業務始め

*午前中のみ営業となります。

営 業 日	休 業 日
-------	-------

・ 万一、交通事故が発生した時は、フリーダイヤル (☎0120-25-8931) に電話をして下さい。事故の受付とアドバイスをしてくれます。

◆鶴居地区の皆様へ

- ・ 生産資材に関することは、菊地雄次 (65-2207) に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、大松運輸 (57-8388) に連絡して下さい。

◆音別地区の皆様へ

- ・ 給油スタンドに関することは、給油所 (2-2084) に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸 (0154-57-2777) に連絡して下さい。

◆幌呂地区の皆様へ

- ・ 生産資材に関することは、安藤 (090-7059-4075) 又は鶴岡 (65-2020) に連絡して下さい。
- ・ 給油スタンドに関することは、安藤 (090-7059-4075) に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、全酪連釧路事務所 (日高購買課長 080-5471-3612) か (御沓 (ミクツ) 職員 080-5471-3621) に連絡して下さい。

◆人工授精業務、年末年始の対応について

- ・ 12月31日及び1月2日の人工授精業務につきましては、午前9時30分までの受付分 (厳守) 対応となりますので、よろしくお願い致します。

◆白糠地区の皆様へ

- ・ 生産資材に関することは、石渡 (自宅 2-3515 携帯 090-3396-0623) に連絡して下さい。

編集後記
EDITOR'S NOTE

□ 新年明けましておめでとうございます。あたらしい年が皆様方にとりまして素晴らしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

□ 表紙の写真は、鶴居村の音羽橋から撮った丹頂で、日の出とともにねぐらとなる雪裡川から飛び立つ姿は美しく、力強く羽ばたくその雄姿が印象的でした。

□ 本年も広報誌「たんちょう」に対し、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。